

令和4年度地域振興推進費活用事業執行一覧

整理番号	事業名	機関名	事業概要	成果指標 (目標値)	事業費(円)
					実績額
1	信州まつもと空港発レンタカー利用促進キャンペーン事業	地域振興局 (企画振興課)	アフターコロナにおいて空港周辺地域の周遊を促進するため、空港を利用して来県する旅行者のうち、特に広域的に周遊する傾向のあるレンタカー利用者に対し、空港周辺地域の観光情報の提供や特典付与による動機付けを行うことで、地域内での周遊、滞在及び消費の促進を図るための事業を実施。なお、本事業は、諏訪、木曾及び北アルプス地域と共同で実施。 ①観光施設等の情報を掲載し、当該施設への持参により特典を受けられる観光パスポート(レンタカーでぐるっ得パス)の印刷及び配付 ②同パスポートを活用し、パスポート掲載店舗を利用したレシート等を集めることで、景品が抽選で当たるキャンペーンを実施する。キャンペーンを実施することで、掲載店舗の利用を促進するとともに、より広域的な周遊観光を促す。	観光パスポート配布数 目標値: 3,000部 成果値: 5,317部  キャンペーン参加人数 目標値: 240人 成果値: 13人  ※松本、諏訪、木曾、北アルプス 4局合同事業	561
2	空港利用促進等PR事業	地域振興局 (企画振興課)	新型コロナウイルス感染症の影響により落ち込んだ空港利用者の増加のため、ノベルティ等配布による空港の利用促進を図る。 ・大阪事務所と協力した関西地域で開かれるイベントでのノベルティ配布、関西地域の飲食店での情報発信	信州まつもと空港利用者数 目標値: 130,056人以上 成果値: 206,434人以上  アンケート回答者数 目標値: 60人 成果値: 558人	212
3	ワインバレー魅力発信事業	地域振興局 (商工観光課)	信州まつもと空港定期便発着地において、当地域ワインを紹介することで当地域に親しみや興味を持ってもらい、空港の利用促進につなげる。 ・信州まつもと空港地元利用促進協議会がRKBラジオまつもとに設置する信州ブース内に当局ブースを設け、空港とワインリーの集積を有する当地域について同協議会等と連携し広域的な情報発信を実施する(10月15、16日(2日間))。	ブース来場者数 目標値: 5,000人 成果値: 46,000人  ワインバレーのワイン提供 目標値: 200杯 成果値: 903杯  ラジオ放送によるワインバレー及び信州まつもと空港利用促進PR 目標値: 2回 成果値: 2回	1,012
4	信州まつもと空港賑わい創出事業	松本空港管理事務所	・空港カード第2弾として、空港の施設等を題材としたカードを複製し、空港に興味を持ってもらい、より空港を身近に感じてもらえるアイテムとしてイベント時に配布する等して活用する。 ・空港の滑走路等の状況が分かるライブカメラを設置し、誰もが自宅等から空港の現在の状況を確認できるようにすることにより、空港来港者数の増加を図る。また、空港に来られない時にもライブカメラを通して航空機の離発着状況などを見て興味を持つきっかけとなるようにする。 ・空港駐車場混雑回避による空港利用者の利便性向上や省エネルギーの観点から、シャトルバス等の利用者数増加を図るため、利用者に対してノベルティ(クリアファイル)を配布する。	シャトルバス利用者数 目標値: 23,060人 成果値: 29,048人  空港イベント参加率 目標値: 90% 成果値: 97.8%  定期便等利用者数 目標値: 140,000人 成果値: 206,434人	1,066
5	花緑ボランティア等推進事業	松本建設事務所	信州花フェスタ2019の記憶と成果を活かしながら、松本平広域公園の魅力向上と花緑ボランティア活動の活性化を図り、地域における協働活動を推進するため、松本平広域公園において、地域住民や民間企業等のボランティア団体を対象とした次の事業を実施する(令和4年4月～10月)。 ・緑化講習会 ・花緑ボランティアリーダー養成講座 ・信州彩園の花壇づくりワークショップ	花緑ボランティア活動参加者 目標値: 190人 成果値: 279人	905
6	大規模地震を想定した防災講演会	地域振興局 (総務管理課)	糸魚川-静岡構造線断層帯による大規模地震に関する地域住民の防災意識の醸成を図るため、災害に関する知識や、発災時にとるべき行動などに関する講演会を信州大学(地域防災減災センター)との共同により実施する。 開催時期については、信州大学との調整のうえ、新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえつつ決定する。	シンポジウム参加者満足度 目標値: 80%以上 成果値: 95%  後援会参加者満足度 目標値: 80%以上 成果値: 98%	44
7	近代化遺産の魅力発信事業	地域振興局 (企画振興課)	近代化遺産の観光資源化を図るため、以下の事業を実施。 ①近代化遺産カード及びカードマップを活用したモニターツアーの開催 ②近代化遺産を巡る旅行商品の開発の検討(バス、個人旅行商品) ③近代化遺産カード及びカードマップの増刷 ④次期近代化遺産カード及びカードマップの検討	モニターツアー参加者 目標値: 24人 成果値: 19人  インスタグラム等に酔おける関連情報の閲覧回数 目標値: 15,000回 成果値: 17,464回  近代化遺産カードの配布枚数 目標値: 3,000枚 成果値: 2,746枚  近代化遺産カードマップの配布枚数 目標値: 2,000部 成果値: 2,192枚	1,030
8	農業資産魅力発信事業	地域振興局 (農地整備課)	管内の農業を支える農業用水利施設と農村風景を観光資源や地域学習に活用する。 ・松本市から山形村、朝日村、塩尻市にかけての中信平地域の水利系統図を作成。作成した図面はパネルにして観光施設等に掲示する。また、クリアファイルを作成し小学生等の地域学習へ活用すると共に、観光にも活用する。	クリアファイル配布枚数 目標値: 9,200枚 成果値: 3,000枚  パネル展示箇所数 目標値: 4箇所 成果値: 4箇所	661

整理番号	事業名	機関名	事業概要	成果指標 (目標値)	事業費(円)
				実績額	
9	信州まつもと 広域圏まるごと 移住支援事業	地域振興局 (企画振興課)	アフターコロナによる地方回帰の動きを捉えた広域的な移住促進対策への支援を実施。 ①信州まつもと広域圏まるごと移住相談会の開催 ②信州まつもと広域圏まるごと移住体験ツアーの開催	移住相談会参加者アンケート満足度 目標値: 70% 成果値: 73%  移住体験ツアー参加者アンケート満足度 目標値: 70% 成果値: 83%  移住相談会参加者数 目標値: 50人 成果値: 74人  移住体験ツアー参加者数 目標値: 30人 成果値: 25人  移住体験ツアー動画視聴回数 目標値: 100回 成果値: 146回	1,226
10	観光プロモーション セミナー事業	地域振興局 (商工観光課)	新型コロナウイルスの影響により落ち込んだ松本地域の観光需要の喚起・拡大を図るため、観光戦略会議において専門家による効果的な観光PR等の講演を実施し、滞在・周遊に向けた観光誘客と広域観光の推進につなげる。 ・観光戦略会議において効果的な観光PR等について、講演会を実施する(10月17日)。	講演会参加者満足度 目標値: 80% 成果値: 94%	110
11	信州旅の宿 フルーツでおもてなし事業	地域振興局 (松本農業農村支援センター) (商工観光課)	・Withコロナ、Afterコロナ対策として、新型コロナウイルスの影響を受けた観光業界と果樹産地が連携して、松本地域を訪れるお客様に、松本地域の特産の果実を提供することで、旅行者の満足度向上に併せ、松本地域産の果実の認知度向上を図る。 ・松本管内の観光地に宿泊した観光客に、松本地域特産のりんごを配布 ・本事業は新型コロナ対策の一つとして令和2年から実施。観光業界からの評価が高いことから、令和4年度まで実施(3年間)。	宿泊施設への聞き取りによるお客満足度 目標値: 80% 成果値: 99%	992
12	スマート農業 推進現地検討会	地域振興局 (松本農業農村支援センター)	・農業現場におけるAIやIoT等の先進的な技術導入や実装を進めるため、ドローンによる薬剤等散布やラジコン式草刈機等のスマート農業技術の実演を含めた検討会を開催し、将来の農地の集約化や生産の効率化等を進める。	参加機関数 目標値: 対象20機関の50%以上 成果値: 60%  参加者のうち必須の届出事項を初めて知った者の数 目標値: 50%以上 成果値: 41%  比較試験成績書による啓発 目標値: 2回 成果値: 3回	94
13	サイクリング ロードアップグレード 事業	松本建設事務所	令和3年度に策定された松本市自転車活用推進計画において、観光・レクリエーションのためのネットワークとして選定されているあづみのやまびこ自転車道(県道穂高松本塩尻自転車道)において、『自転車を楽しむ三ヶ都まつもと』を目指す松本市や塩尻市のまちづくりと連携して、自転車走行環境整備のため、次の事業を実施する。 ・路面標示等の整備	路線全体延長に対する路面案内表示の設置数割合 目標値: 48% 成果値: 48%	1,000
14	松本地域の特性を活かした 環境教育の普及・啓発	地域振興局 (環境・廃棄物対策課)	2050ゼロカーボンの達成において、普及啓発を効果的に実施するため、小学校、中学校、高等学校教諭を対象に、松本地域における指導者養成の研修会を行う。 (ゼロカーボン専門研修、(小学校(低、中、高学年)、ゼロカーボンワークショップ、参考図書の紹介、松本地域の先進事例を紹介)	研修会参加者満足度 目標値: 80%以上 成果値: 100%  研修会延参加人数 目標値: 50人以上 成果値: 26人	117
15	脱炭素社会に向けた 地元木材製品等普及 拡大事業	地域振興局 (林務課)	令和3年度は、再生可能な地域資源である木材製品等に転換を図ることを目的として、木工製品等の展示を管内8施設で行い、ホームページ上で紹介を行った。 令和4年度は、運搬が困難で展示が不可能であった木製家具及び令和3年度に展示した製品を印刷物(ポスター、チラシ等)として配布を行い、幅広く普及活動を行う。	木工製品啓発パンフレット掲載品数 目標値: 20品 成果値: 19品  木工製品啓発パンフレット配布箇所数 目標値: 55箇所 成果値: 27箇所	106
16	産科医療提供 体制維持確保 事業	松本保健福祉 事務所	安心して出産できる医療体制の維持を図るとともに、地域で子を産み育てることの安心感を醸成し、出産・子育て環境の向上を図る。 ・分娩医療機関と健診協力医療機関との役割分担による産科医療提供体制を維持していくため、この体制を住民が理解し、協力が得られるよう広報活動を行う。	出生数に対する管内産科医療機関の分娩取扱数の比率 目標値: 100%以上 成果値: 104.4%  アンケート満足度 目標値: 80%以上 成果値: 90%  講演会参加人数 目標値: 230人以上 成果値: 136人	871

整理 番号	事業名	機関名	事業概要	成果指標 (目標値)	事業費(円)
					実績額
17	スイカ炭疽病発生予察システム整備等事業	地域振興局 (松本農業農村支援センター)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・松本管内は県下を代表するスイカの産地として市場からの高い評価を得ている。</li> <li>・一方、令和3年度、松本市の産地を中心に難防除病害のスイカ炭疽病が多発生しその被害金額は2億円を超えるとともに、市場関係者からは、早期の防除対策の確立等が求められる。</li> <li>・スイカ炭疽病は、県外の産地で防除対策が課題となる中、北陸、東北の産地では、気象データから発病を予察するシステムの活用が始まっている。</li> <li>・このため、長野県農業試験場が企業と共同開発した気象観測装置のシステムをアップデートして本病対策に活かすことで、スイカの生産安定と市場からの信頼確保につなげる。</li> </ul>	防除効果の高い薬剤の選定 目標値: 1系統 成果値: 4系統  スイカ炭疽病発生予察情報のJA部会員への周知 目標値: 1回以上 成果値: 7回  新防除体系区のスイカ炭疽病等の発病果率低減 目標値: 20%以下 成果値: 病害発生なし  スイカ炭疽病に対するクレーム件数 目標値: 184件以下 成果値: 1件	250
18	冬期散水による風食防止対策効果調査事業	地域振興局 (松本農業農村支援センター)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・松本南西部地域において、春先の強風により冬期間作付けがされていない野菜畑等から土壌が飛散する“風食”の発生を防止するために、いくつかの対策が検討実施されている。</li> <li>・うち冬季散水は、過去に2回試験されたものの、機材が凍結破損したこと等から検討が中断されており、詳細な風食防止効果のみならず土壌水分含有量の動態などの検討も行われていない。</li> <li>・そこで今回、ある程度の規模において散水を行い、詳細な調査を行うことで、今後の風食防止対策の基礎データとする。</li> </ul>	簡易かん水設備による散水試験 目標値: 2回 成果値: 1回  目視調査及び土壌水分等動態調査 目標値: 各5回 成果値: 各5回	377
			合計		10,634